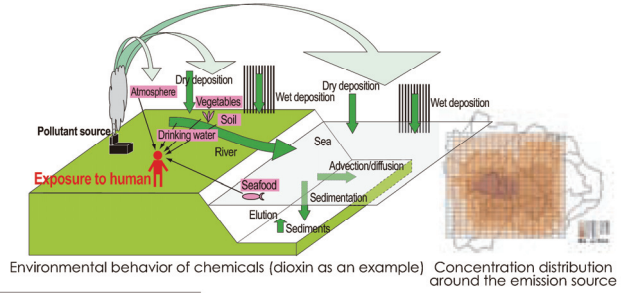


技術情報シート

1. 技術の名称	有害化学物質による環境リスクの評価技術
2. 技術の内容	環境中の有害化学物質による、生態系や人の健康への影響に対する懸念が高まっています。当社では、精度及び信頼性の高い化学分析による化学物質や極微量物質の環境実態・曝露量の調査、種々の水生生物を用いた生物試験(生態影響試験)、化学物質等の環境動態や有害物質汚染のメカニズム解明のための詳細調査を実施し、環境リスクを科学的に解析・評価します。廃棄物処理施設等の運転・管理における有害化学物質による環境リスクの低減・管理に不可欠な科学的知見や対策技術の情報提供など、総合的なコンサルティングを提供します。
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 清掃工場等の廃棄物処理施設等から排出されるガスや水などを適切に管理し、人の健康や生態系への影響を回避することを目的とし、環境中の有害化学物質について環境実態・曝露量の調査や水生生物を用いた試験等を組み合わせ、環境リスクを科学的に解析・評価するとともに、それらリスクの低減・管理のための科学的知見や対策技術の情報提供を行います。 【技術の特長】 以下の化学物質についての分析を行い、環境実態・曝露量の把握、環境中の挙動解析や汚染メカニズム解明のための詳細調査の企画・実施、環境リスク低減・管理に必要な対策の提案などを行います。 ➢ ダイオキシン類、PCB 類 ➢ 残留性有機汚染物質 (POPs) ➢ 農薬類と食品中の残留農薬 ➢ 重金属類 ➢ 内分泌かく乱化学物質 ➢ 揮発性有機化合物 (VOC) 【実績】 当社は、20 年以上に渡って、日本国および海外の様々な機関から本技術を用いた業務を実施しています。 また、生態影響試験の国際標準である OECD テストガイドライン改定のための研究にも協力しており、その技術は国際的にも広く認められています。 【価格又はその問い合わせ先】 海外事業部・光本育郎(TEL.+81-045-593-7637, e-mail:mitu@ideacon.co.jp)
技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格	 Environmental behavior of chemicals (dioxin as an example) Concentration distribution around the emission source
4. 技術の分類	
①用途分類	有害廃棄物処理、調査・評価
②対象廃棄物	廃プラスチック、建設廃棄物、家電製品、蛍光管、電子製品、携帯電話、自動車、電池・鉛バッテリー、廃タイヤ、医療系廃棄物、廃油
③提供役務	コンサルティング、環境影響評価、調査・データ処理
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	東南アジア
6. 検索キーワード	有害化学物質、排出ガス、排水、浸出水、生物影響、管理、モニタリング
7. 問合先窓口・担当者	いであ株式会社 海外事業部・光本育郎 (TEL.+81-045-593-7637, e-mail:mitu@ideacon.co.jp)